

トラフシジミという和名は、写真でわかるように翅裏面のだんだら模様由来します。タイガー（トラ）の模様に似ているという点では春の女神：ギフチョウに勝るチョウはありませんが、名前にきちんとトラと入っているチョウとして、プロ野球タイガースファンがこのチョウを知らないではすまされないでしょう。幼虫がウツギやフジ、クズなどいろんな花を食べるので、北海道から九州まで広い分布を示しますが、どこでも多くの個体数をみられるというチョウではないとされています。実際、私が昆虫採集を始めた1955年頃の高知市五台山では、春型、夏型をそれぞれ一度でも見られたら御の字というたいへん珍しいチョウに位置づけられていました。ですから、



May 5, 1981 兵庫夢前町 トラフシジミ



80427 志方町

一度に複数のトラフシジミに会えるなんてありえないという先入観をもって早春の加古川市志方町を訪れたとき、ウツギの花が咲き誇る谷あい、複数頭のトラフシジミが飛び交う光景に出会って驚きました。細い山道の路面で吸水をするもの、ツツジの花に蜜を求めるもの、ウツギの花のまわりを忙しく飛び交う個体など。カメラで翅表の味わいのあるブルーを何とかキャッチしようとトラフシジミと同じ視線でねらうために山道の路面に当方も腹ばいとなるなど、早春の里山で楽しいひと時を過ごすのがその後の恒例行事となりました。2014年4月2日のV字開翅で太陽光を受けているシーンは滅多におめにかかれない記録です。

2014/04/02
12:41

身近では、June 1, 2004に西畑の花畑近くにある児童公園際の木枝に飛来したことがあって、急いでカメラで追ったのですが、夏型だと確認するタイミングはあったにもかかわらず、被写体としてはとどまってくれることなく飛び去ってしまい、映像記録を残せていません。

夏季に出る本種は、裏面の白帯部分が淡褐色となって春型にくらべるとその美しいコントラストがみられませんが、翅表のブルーはむしろ濃い藍色が増したように感じます。ただし、翅表の



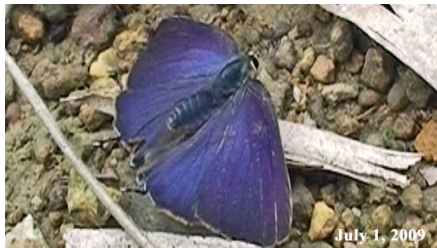
July 1, 2009



June 7, 2012



June 12, 2010



July 1, 2009

ブルーを映像として記録できる機会は非常に少なく、路面でミネラル水を吸っている際に羽を開閉することがあり、そういうときが唯一のシャッターチャンスとなります。なお、季節によって異なる色彩変化は、幼虫時代の高い気温などが影響していると考えられますが、その検証は容易ではありません。遅い記録として Oct. 25, 2009 に高砂市高砂町松波町で、各

戸が配るお菓子類をもらって回る Halloween イベントを子供たちが楽しんでいるところに偶然飛来した個体を見ましたが、あっというまの出来事で Video カメラを持っていたのにこのときも証拠記録は撮れていません。